

1. 秦 浩

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1. 地域振興の商品券について	(1) ふくつパイについて ① 販売総額 ② 申込み方法 ③ 抽選方法 ④ 利用できる施設 (2) リフォーム工事券の補助金再開について	
2. 給食について	物価高騰等により、給食にかかる材料費などが値上がりしていると考えられる。今後の給食費についての本市の考えは。また、給食施設についての今後の考え方は。	
3. 本市の公共施設の今後について	① 耐用年数について ② 統廃合を含む今後の計画等について	

2. 中村 恵輔

質 問 事 項	質 問 要 旨	備考
1. 福間南小学校の教育環境の現状と、今後の取り組みについて	学校過密化の解決は最重要課題である。その中でも福間南小学校は一番早く過大規模校化したが、未だに解消に至っていない。 校区再編の進捗および教育環境の改善に向けた取り組みについて伺う。	

3. 中村 清隆

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
<p>1. スポーツ施策について</p>	<p>スポーツを取り巻く環境は、急激に変化してきている。例えば、日本中学校体育連盟（中体連）は、主催する全国中学校体育大会（全中大会）で2027年度以降、水泳やハンドボール、体操、新体操、ソフトボール男子、相撲、スケート、アイスホッケー、2030年度からはスキーを併せた計9競技を実施しないと発表。全国の中学校約1万校で部活動の少ない競技を取りやめ、現行の20競技からほぼ半減させるとしている。大会運営を担う教員の負担は減るが、都道府県大会や地区予選の規模だけでなく、全国の中学校が設置する部活動の種類にまで、大きな影響が広がることが懸念され、本市においても例外ではない。また部活動だけでなく、人口が急増する本市においては、スポーツに関する様々な問題もあると考える。そこで、以下の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 国や福岡県が掲げるスポーツ基本計画やスポーツ施策と本市のスポーツ施策との関連 ② 本市のスポーツ基本計画の中間見直しにおける進捗状況 ③ 本市が主催・共催する大会や、県民大会への出場方法 ④ 障がい者スポーツへの取り組み ⑤ 部活動地域移行の進捗状況と方向性 ⑥ 本市のスポーツ施策のこれまでの取り組みと実績及び今後の展望 	

4. 榎本 博

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1. 地域拠点の整備について	<p>本年3月定例会の総括質疑をはじめ、6月・9月定例会において「津屋崎地区」と「東福間駅周辺地区」の賑わいと活性化について一般質問を行ってきた。再度、両地区の事業について伺う。</p> <p>(1)津屋崎地区</p> <p>① 大峰山キャンプ場について、実証実験を行った事業者との契約が8月で終了とのことであったが、実証実験の結果と今後について。</p> <p>② 夕陽館を運営する事業者と10月に契約であったが、その結果と今後について。</p> <p>③ 玄海国定公園内の私有地にかかる遊歩道のその後の対応と国定公園内の私有地の現状について。</p> <p>④ 豊村酒造の保存活用計画についての財団・県・市の3者協議の進捗状況と今後の保存活用計画と観光基本計画の見直しについて。</p> <p>(2)東福間駅周辺地区</p> <p>① 東福間団地側の計画が中止となった公園事業と周辺住宅の今後の計画について。</p> <p>② 東福間口駅前広場の整備が進んでいるが、広場の管理と利活用について。</p> <p>③ 東福間駅の東福間団地側は天井が剥がれ鉄骨部に埃が堆積している。市が行う自由通路の管理について。</p>	
2. 中小企業振興条例について	<p>本年4月に本条例が施行された。その後の取り組みと今後の産業振興の計画について伺う。</p>	

5. 山本 祐平

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1. はづき公園での見守り事業について	<p>過大規模校である福間南小学校では、児童数に対しグラウンドが狭いため、休み時間の利用に制限がある。その制限を緩和するため、令和5年度からはづき公園を昼休みの児童の遊び場としている。令和6年度はづき公園見守り事業の運用状況を伺う。</p>	
2. 財政状況について	<p>本市の財政は、人口増加に伴い税収は増えているが、それ以上に扶助費や物件費など、経常的なものを含む経費の増加で厳しい状況にある。今後も過大規模校への対応や公共施設の老朽化対策、激甚化傾向にある災害への備えなど、財政負担はさらに増えていくことが想定される。財政状況の正確な把握と適切な財政運営が求められるため、以下について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 歳入の現状と今後の見通し ② 歳出の現状と今後の見通し ③ 市債残高の現状と今後の見通し ④ 基金残高の現状と今後の見通し 	

6. 大山 隆之

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
<p>1. 公共施設の管理、運営と今後の方針について</p>	<p>本市における公共施設の多くは、本年度から包括管理委託となった。本年度の途中経過や今後の方針等を伺う。</p> <p>① 包括管理委託となり、市の職員の省力化と管理の質の向上を目指していたが、導入し変化した事は何か。</p> <p>② 令和6年度市政運営の指針には、「民間の資金や創意工夫を活用することにより、効率的かつ効果的であって良好なサービスを実現するため、多様なPPP／PFIの活用や指定管理者制度の導入、民営化も含めて検討する。」と記載があるが、民営化の検討とはどのようなものか、また今年度の進捗は。</p> <p>③ 本市が維持管理を行っているヨットハーバーや直売所、公園等の公共施設の今後について、現状を維持していくのか、または新たな手法を導入していくのか。</p>	

7.井手口 忠信

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1. 障がい者福祉政策について	<p>① 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（いわゆる「障害者差別解消法」）において、地方公共団体は障がいのある方への合理的配慮の提供が義務とされている。市役所庁舎内において、合理的配慮としてどのような対応を行っているのか。</p> <p>② 「障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する法律」（いわゆる「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」）により、障がいの有無にかかわらず情報取得への配慮が求められている。印刷物の文字情報を二次元コードに変換した音声コードの、本市での活用の現状は。</p> <p>③ 加齢等による難聴者への配慮として、どのような対応をおこなっているのか。また、軟骨伝導イヤホンを窓口へ設置する自治体が増えているが、本市の見解は。</p>	

8. 倉元 敏徳

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1. 今後の農業施策について	<p>本市が基幹産業としている農業は、生産者の高齢化や減少、後継者不足等により、食料の自給率UPどころか減少を止めることも大変な状況である。そこで以下のことについて伺う。</p> <p>① 令和5年12月定例会の一般質問で、福津市農業振興地域整備計画を作成すると答弁されたが、その進捗状況</p> <p>② 農業振興地域整備計画により期待される効果</p> <p>③ 令和3年度に実施検証されたスマート農業の進捗状況</p> <p>④ 「人・農地プラン」の実質化の進捗状況</p>	
2. 高齢者の健康維持・増進について	<p>高齢者の健康維持・増進に対する市のこれまでの取り組みと、今後の取り組みについて伺う。</p>	

9. 戸田 進一

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1. 学童保育所の充実について	<p>学童保育所は、「安心して働きたい」「子どもに豊かな放課後や学校休業日を過ごさせたい」という保護者の切実な願いから生まれ、労働等の理由により、保護者が昼間家庭にいない小学生の「生活の場」となっている。子ども達が健やかに過ごす時間を保障するため、今後も学童保育所の充実が求められている。そこで以下の点について、市の見解を伺う。</p> <p>① 現状についての認識(施設、規模、指導員体制、休息スペース、待機児童等)</p> <p>② 今後の充実に向けての考え</p>	
2. 過大規模校の解消・緩和について	<p>福間南小学校の過大規模校の状態は続いたままである。教育委員会は、校区再編案を示し、令和8年度より実施する計画であるが、子ども達や保護者の思いにしっかり耳を傾け進める必要がある。以下の点について、現状及び今後の進め方を伺う。</p> <p>① 過大規模校の現状認識</p> <p>② 保護者・地域との合意形成の回り方を含めた今後のスケジュール</p> <p>③ 過大規模校解消・緩和のための課題解決</p>	

10.石田 まなみ

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1.安全安心な通学路の確保と整備について	<p>(1) 日没後の通学路の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 県道97号線福間宗像玄海線の津丸、高平付近からJR東福間駅にかけての歩道 ② 福間東中学校の通学路、特に久未や八並、上西郷、本木方面の道路 <p>(2) 通学路や学校の近くに道路の白線が消えている所があるが、見回り調査はしているのか。</p> <p>(3) 大規模校及び過大規模校からの校区外通学制度の令和7年度の申し込み者数と決定者数</p> <p>(4) 福間南小学校の過大規模緩和策である校区再編に係る通学路の整備について</p>	
2. 機構改革について	<p>市長が任期2期8年間の中で行ってきた機構改革について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 平成29年度からの機構改革の流れ ② 現在の地域コミュニティ課の組織と設置位置の変遷 ③ 通常業務と選挙管理委員会の兼務について 	

11. 中村 晶代

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1. 保育所等の入所状況について	<p>乳幼児の保護者から、育児休業明けの0歳・1歳児および、小規模保育施設からの転園による3歳児の年度当初からの入所が難しいとの声が上がっている。令和7年度の保育所等入所申込の受付が11月から始まっているが、市として現状をどのように考え、どのような対策を講じているのか、以下の点を伺う。</p> <p>① 認可保育所の受け入れ枠は十分なのか。 ② 保育士の離職状況はどうなっているのか。 ③ 保育所の環境を改善するために外部コンサルタントを派遣している自治体もあるが、市はこのような検討を行っているか。</p>	
2. 医療的ケア児への教育環境の整備について	<p>「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が令和3年に施行された。医療的ケア児および保護者が公立学校への就学を望んだ場合、どのような取り組みが必要となるか。市の現状と今後の取り組みについて伺う。</p>	

12. 豆田 優子

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1. 資金管理運用について	<p>新設小学校、公共施設の老朽化対策など、本市の財政は厳しい状況にある。先の9月定例会の決算質疑では、基金運用の際に売却損があったことが分かった。</p> <p>また、「本市が所有している債券は、取得価格より債権の時価が下がっているものが全てである。」という趣旨の答弁もあった。そこで以下について伺う。</p> <p>① 現有債権の取得時期とその経緯 ② 現有債権の売却時期をどう考えているか ③ 今後の資金管理運用の見通し</p>	
2. 市有財産の活用について	<p>本市の市有財産の一つに市営住宅がある。現在、入居募集をしていない市営住宅や、入居可能な市営住宅でも空室のままになっているところがある。また、市有地の中には未利用の空き地なども見受けられる。財産の活用という点で見ると“もったいない”と思われる。そこで、今後の方針について伺う。</p> <p>① 空室になっている市営住宅の入居募集はいつ行うのか。その場合、入居時期はいつか。 ② 利用されていない市有地の活用は。</p>	

13. 岩下 豊

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1. 子ども医療費助成制度について	<p>子どもたちが家庭環境に左右されず、安心して医療を受けられるようにする事は行政の責務である。本市には、独自の子ども医療費助成制度があるが、今後の考え方について伺う。</p> <p>① 現状の子ども医療費助成制度 ② 子ども医療費助成制度の更なる拡充</p>	
2. ふくつミニバスを含めた市内公共交通等の充実に向けた取り組みについて	<p>本市の高齢化率は今年10月末時点で27.5%である。地域によって格差があり、高齢化率の高い地域においては、高齢者の移動手段としてふくつミニバスの重要性がさらに高くなると考える。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくためにも、ふくつミニバスを含めた公共交通の利便性向上は必須であると考えている。そこで、以下について伺う。</p> <p>① ふくつミニバス利用者の目標人数に対する実績への評価 ② バス会社からの乗り合いバス路線廃止の申出（津屋崎～鐘崎線）に対する現状と対応策 ③ 市内公共交通の利便性向上に向けた取り組み</p>	
3. 福津市教育委員会請願処理規則の一部改正について	<p>令和6年8月22日の福津市教育委員会定例会において、本市教育委員会請願処理規則の一部改正が可決された。規則改正についての詳細を伺う。</p> <p>① 改正した経緯 ② 同規則第3条第2項にある「会議に付議しないもの」の判断基準</p>	

14.尾島 武弘

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1. 放置自動車について	<p>勝浦で廃車を取り扱っている業者が、土地所有者の承諾もなく多くの自動車を何年も放置しており、土地所有者は市に放置自動車の撤去等の対応を求めている。また、農道にも放置されており、車での通行ができなくなっている。 このことについて市の考えを伺う。</p> <p>① 現在の状況をどう認識しているか ② 業者への対応 ③ 今後の対応</p>	
2. 人材育成基本方針について	<p>市長は人材育成基本方針の改定版策定にあたって、職員向けに「人も自然も未来につながるまち、福津。」の実現を目指すためには、これまでよりさらにバージョンアップした市役所の組織力、職員力が不可欠とのメッセージを発信している。また、それぞれの能力を発揮しやすい環境づくり、組織の力を最大限に出せる環境づくりを行っていくとしている。 人材育成基本方針に基づく人材育成の現状と課題について伺う。</p> <p>① 目指す組織像・職員像 ② 職位別役割等の設定 ③ 人材育成のための総合的な取り組み ④ 人材育成の推進体制</p>	

15.佐伯 美保

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
<p>1.地域とともにある学校（コミュニティ・スクール）づくりにおける学校施設の安全と防災対策、建設費用等について</p>	<p>（1）築年数の古い学校施設の安全管理及び防災対策等について 学校は、子どもたちが学び育つ施設として、何より安全な施設であることが求められ、地域の防災拠点としての役割も求められる。自然災害が激甚化する中、今年7月及び11月の雨で築40年、50年を超える小学校等で雨漏りが発生したり、外壁の劣化が激しく剥離落下の懸念が生じたりしている。学校施設の安全管理と防災対策及び長寿命化計画の進捗等について問う。</p> <p>（2）新設校の防災対策等について 本市は地域とともにある学校（コミュニティ・スクール）づくりを目指しており、学校づくりには地域住民の理解と協力が欠かせない。新設校建設地は手光今川水系手光今川洪水浸水想定区域、高潮浸水想定区域、禊池の浸水想定区域に指定されている。学校敷地を七股池の排水路が横切っているが、今年7月11日に七股池は、決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設等が存在し、人的被害を与える恐れがあると判断された防災重点農業用ため池に指定され、更に立地の安全性の懸念が高まった。なお、新設校建設地選定の理由や経緯については、教育委員会の議事録が存在せず、確認できない状況のままである。新設校に関して以下を問う。</p> <p>① 新設校を盛土造成で建設することによる周辺地域への影響を地域住民へ周知するとしていたが、その進捗について。 ② 新設校の安全と防災対策、建設費用等について。</p>	

令和6年第6回 福津市議会定例会一般質問（令和6年12月）

<p>2. 過大規模校における特別教室の整備等について</p>	<p>① 過大規模校では、図書室で時間を過ごすことや本を借りることに制限が生じている状況である。蔵書の整備状況、子どもたちの読書活動推進における現状と対策等について問う。</p> <p>② 福間南小の不足している特別教室の整備等について問う。</p>	
---------------------------------	---	--

16. 福井 崇郎

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
<p>1. 市長の福津市政8年間の実績を問う</p>	<p>① 行財政改革において本市は「ビルド&スクラップ」の考え方のもと持続可能なまちづくりに向けて取り組んでいる。この8年間でビルドしたもの、スクラップしたものを、成果を含めて伺う。</p> <p>② 本市の一部の小・中学校は長期にわたり過大規模校の状況が続いている。これは新設校整備が遅れたことも要因の一つであり、そのことにより校舎増築に対する多額の整備費用が必要となった。また、新設校整備に関しては、開校までにさらなる多額の財政出動が見込まれている。この新設校整備や校舎増築整備に関し、現時点でどのように総括しているのか伺う。</p> <p>③ 福津市みんなですすめるまちづくり基本条例に規定する情報の共有、説明責任をどのように果たしてきたのか伺う。</p> <p>④ 1期目は対話のまちづくりを掲げ、市民との意見交換を重視してきたが、2期目は市民の声をどのように聴取し、市政に活かしてきたのか伺う。</p> <p>⑤ 基金の運用状況とその運用方針について伺う。8年間の基金運用の実績についても伺う。</p>	